

FLASH

リニュアル仲介

セルフインスペクションサービスを開始 消費者自身で既存住宅をチェック

リニュアル仲介は一般消費者自身がウェブで簡単に既存住宅についての詳細な情報を入手できるサービスの提供を開始した。消費者自身で価格の妥当性や耐震性などについて、チェックできる市場環境を提供していきたい考えだ。

安心な既存住宅の購入へ
消費者の情報入手をサポート

エージェント型仲介の不動産フランチャイズチェーンを展開するリニュアル仲介（東京都新宿区・代表取締役：西生建氏）は安心で良質な既存住宅市場を形成するため、一般消費者がウェブで簡単に既存住宅についての詳細な情報を入手できるサービス「SelFin（セルフィン）」の提供を開始した。まずは、全国のマンションから対応し、順次、戸建て住宅にも対応していく予定だ。

既存住宅の流通時、多くの不動産事業者は既存住宅の情報をデータでしっかりと一般消費者に伝えるという意識になっていないというのが実情。売買に不利になるネガティブな情報であればなおさらだ。このため、不動産事業者と消費者との間に情報の非対称性があり、消費者がリスクを十分に知らされずに、例えば耐震性の不足する既存住宅を購入することもあるという。このため、リニューアル仲介では、「セルフイン」の提供を通じて、一般消費者が不動産事業者に頼らなくても自分自身で耐震不足などのリスクを知ることができる仕組みを提供していきたいと考え。

耐震性や価格の妥当性を
数字やコメントで表示

「セルフイン」では、消費者がセルフインスペクションしたい既存住宅の物件名や、住所などを入力すると、リニュアル仲介が公表されているデータなどを活用し、その物件の耐震性や価格の妥当性、流動性、立地による資産性、住宅ローン減税の対象か否か、マンションの管理状況（マンシ



「セルフイン」を利用すれば、一般消費者はウェブで簡単に既存住宅についての詳細な情報入手できる

「セルフィン」のレポートはPDF形式で保存、印刷もできる

セルフインの利用料は無料。メールアドレスを登録するだけでサービスを利用できる「メール会員」と、会員登録の手続きが必要な「正会員」がある。正会員はサービスの利用にあたり物件情報の入力の手間を減らせたり、過去に入力した物件情報の蓄積データなども利用できるなどのメリットがある。

リニュアル仲介は住宅の購入を検討している一般消費者や住宅所有者を「セルフイン」の主要な利用者として想定しているが、リニュアル仲介の不動産フランチャイズチェーンの加盟不動産事業者などにも活用して欲しい考え。